

食品に関するリスクコミュニケーション(山口) —食品安全のためのリスク分析の考え方(農薬を例として)— アンケート集計結果

開催日:2007年9月13日(木)

参加者数: 123名 回答数: 105名 回答率: 86.1%

問1 あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。

① 性別

回答内容	件数	割合
1. 男性	40	38.1%
2. 女性	65	61.9%
無回答	0	0.0%
合 計	105	100.0%

② 年齢

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	1	1.0%
2. 20歳代	21	20.0%
3. 30歳代	9	8.6%
4. 40歳代	20	19.0%
5. 50歳代	29	27.6%
6. 60歳代	16	15.2%
7. 70歳以上	8	7.6%
無回答	1	1.0%
合 計	105	100.0%

③ 職業

回答内容	件数	割合
1. 消費者団体(生活協同組合関係者 など)	21	20.0%
2. 主婦、学生、無職	29	27.6%
3. 生産者(農林水産業従事者 など)	1	1.0%
4. 食品関連事業者・団体(加工、流通、販売など)	12	11.4%
5. マスコミ(新聞記者、カメラマン など)	0	0.0%
6. 行政(自治体職員、独立行政法人等職員 など)	25	23.8%
7. 食品関連研究・教育機関(教員、研究職員 など)	6	5.7%
8. その他	6	5.7%
無回答	5	4.8%
合 計	105	100.0%

8. その他

ISO審査員、コンサルタント
(財)役員
食品表示ウォッチャー
管理栄養士で32年間学生の健康管理をする職にいた者
JA
飲食業(BAR)
昨年食品安全委員会モニターをしました。

④ 本日の意見交換会開催をどこでお知りになったか

回答内容	件数	割合
1. 山口県からのご案内	54	51.4%
2. 食品安全委員会のホームページ	1	1.0%
3. 食品安全委員会メールマガジン(e-マガジン)	2	2.0%
4. 関係団体からのご案内資料	21	20.0%
5. 知人からの紹介	11	10.4%
6. その他	14	13.2%
無回答	2	2.0%
合 計	105	100.0%

6. その他

大学の案内で
食品安全モニターより
学校の案内
大学の先生から
学校
大学の教授より
山口新聞×2名
山口県立大学の先生からの紹介
新聞記事
食品表示ウォッチャー
学校からの紹介
食品安全委員会から送付資料による
大学の案内で

⑤ 本日の意見交換会に参加された動機

回答内容	件数	割合
1. リスク分析について関心があったから。	17	16.2%
2. 農薬について関心があったから。	34	32.4%
3. 行政に直接意見を言いたかったから。	1	1.0%
4. 業務の一環として参加する必要があったから	30	28.6%
5. 政府の行うリスクコミュニケーションの取組みについて知るため。	14	13.2%
6. その他	1	1.0%
無回答	8	7.6%
合計	105	100.0%

6. その他

モニターの際は、なかなか思いが及ばなかった面が多かった。今だに農薬には疑問がある。ホームセンター等で扱われている農薬についても問題点が多いのでは

⑥ 本日の講演を聴く以前、食品のリスク分析の考え方について、あなたをご存知でしたか。

回答内容	件数	割合
1. 知らなかった。	36	34.3%
2. 「リスク分析」という名称は知っていた。	36	34.3%
3. 「リスク分析」という内容まで知っていた。	29	27.6%
無回答	4	3.8%
合計	105	100.0%

⑦ 「100%安全な商品はないこと」について、あなたはどのように思われますか。

回答内容	件数	割合
1. 強くそう思う。	62	59.0%
2. ややそう思う。	36	34.3%
3. あまりそう思わない。	1	1.0%
4. 全くそう思わない。	2	1.9%
5. わからない。	1	1.0%
無回答	3	2.8%
合計	105	100.0%

問2 本日の意見交換会についてお聞きします。それぞれあてはまるところを○で囲んでください

① 意見交換会開催時期

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	9	8.6%
2. 適切だった	77	73.2%
3. あまり適切ではない	5	4.8%
4. 全く適切ではない	1	1.0%
無回答	13	12.4%
合計	105	100.0%

② 開催方法(参加手続き・場所・所要時間)

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	8	7.6%
2. 適切だった	77	73.2%
3. あまり適切ではない	13	12.4%
4. 全く適切ではない	0	0.0%
無回答	7	6.8%
合計	105	100.0%

③ 配布資料

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	18	17.2%
2. わかりやすかった	73	69.5%
3. わかりにくかった	6	5.7%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	8	7.6%
合計	105	100.0%

④ 講演「食品のリスクとのつきあい方」

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	20	19.0%
2. わかりやすかった	75	71.4%
3. わかりにくかった	3	2.8%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	7	6.8%
合計	105	100.0%

⑤ 「山口県における食品安全の取組の紹介」

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	11	10.4%
2. わかりやすかった	74	70.6%
3. わかりにくかった	12	11.4%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	8	7.6%
合計	105	100.0%

⑥ 意見交換時の応答

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	15	14.3%
2. わかりやすかった	70	66.7%
3. わかりにくかった	4	3.8%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	16	15.2%
合計	105	100.0%

⑦ 意見交換会全体

回答内容	件数	割合
1. 評価する	26	24.8%
2. おおむね評価する	59	56.1%
3. あまり評価しない	2	1.9%
4. 全く評価しない	1	1.0%
無回答	17	16.2%
合計	105	100.0%

問3 本日の意見交換会は、あなたの仕事や生活にとって有益なものでしたか。

①講演「食品のリスクとのつきあい方」について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	44	41.9%
2. ある程度有益だった	56	53.3%
3. あまり有益でなかった	2	1.9%
4. 全く有益でなかった	0	0.0%
無回答	3	2.8%
合計	105	100.0%

②「山口県における食品安全の取組の紹介」について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	27	25.7%
2. ある程度有益だった	65	61.9%
3. あまり有益でなかった	8	7.6%
4. 全く有益でなかった	1	1.0%
無回答	4	3.8%
合計	105	100.0%

③意見交換時の応答について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	33	31.4%
2. ある程度有益だった	51	48.6%
3. あまり有益でなかった	4	3.8%
4. 全く有益でなかった	1	1.0%
無回答	16	15.2%
合計	105	100.0%

問4 リスク分析の考え方を広めるために、今後どのような取組が必要と思われますか

回答内容	件数	回答者数 に対する 割合
1. 各地での説明会の開催	59	56.1%
2. ホームページや出版物での情報発信の拡充	19	18.1%
3. 普及啓発できる人の育成	40	38.1%
4. その他	4	3.8%
無回答	8	7.6%
合計	130	

4. その他

農薬、食品、食中毒等の知識が偏った方が多いため、義務教育に取り入れる。
生産者側の情報公開
教育(学校教育、社会教育)やマス・メディアで取り扱う。
もっとPRを

問5 食品安全委員会が行う食品健康影響評価について、どの分野の啓発ソフトがあるとよいと思われますか。

回答内容	件数	回答者数 に対する 割合
1. 添加物	58	55.2%
2. 動物用医薬品	11	10.4%
3. 器具・容器包装	13	12.4%
4. 化学物質	38	36.2%
5. 汚染物質	29	27.6%
6. 微生物	18	17.2%
7. ウイルス	17	16.2%
8. プリオン	10	9.5%
9. かび毒・自然毒等	22	21.0%
10. 遺伝子組替え食品等	37	35.2%
11. 新開発食品	19	18.1%
12. 肥料・飼料等	18	17.2%
13. 残留	36	34.3%
14. その他	1	1.0%
無回答	7	6.8%
合計	329	

14. その他

農薬

問6 食品の安全性を確保していく観点から、意見交換会などのリスクコミュニケーションで取り上げて欲しいテーマはどのようなものですか(3つまで)

回答内容	件数	回答者数 に対する 割合
1. 食品添加物	43	41.0%
2. 残留農薬	40	38.1%
3. 食品中に存在する汚染物質・化学物質	39	37.1%
4. 遺伝子組換え食品	27	25.7%
5. 動物用抗菌性物質(いわゆる抗生物質)	9	8.6%
6. BSE	8	7.6%
7. 食中毒(微生物・ウイルス・かび毒・自然毒)	31	29.5%
8. 鳥インフルエンザ	5	4.8%
9. 新開発食品	16	15.2%
10. いわゆる健康食品	33	31.4%
11. リスクコミュニケーション	6	5.7%
12. リスク分析の考え方	15	14.3%
13. 食育	8	7.6%
14. その他	3	2.8%
無回答	8	7.6%
合計	291	

14. その他

輸入食品の安全性
次世代型動物用医薬品
何の食品には何で(どういう理由)何がリスクかどう管理すればよいか

問7 以下の食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んで、○をつけてください

回答内容	件数	回答者数に対する割合
1. 委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと (原則公開されていること)	14	13.2%
2. 食品安全委員会ホームページ(http://www.fsc.go.jp)	30	28.6%
3. 食の安全ダイヤル(食品の安全性についての情報提供や)	27	25.7%
4. 食品安全委員会メールマガジン(e-マガジン)	9	8.6%
5. 食品安全モニター制度	29	27.6%
6. 季刊誌『食品安全』	15	14.3%
7. 食品安全総合システム	11	10.4%
8. 食品の安全性に関する用語集	11	10.4%
9. 食品の安全性に関する政府広報	22	21.0%
10. その他	1	1.0%
無回答	44	41.9%
合計	213	

9. その他

食の安全モニターによる意見書、報号、月別集

問8 会全体を通してご意見やご感想がございましたら、自由にご記入下さい。

- 1 内容が盛り沢山で、講師の方はかけ足でしたネ。所要時間では無理があったのではと思いました。質問、食品添加物が数多く入った加工品があります。(例、カレールー、漬物等)コクだとか、マロミ等を出すためとか目的はわかりますが、添加物の数の規制は考えられないのですか。以上
- 2 今日のお話しは以前に学習したことがありましたが、忘れていたので再度聞くことができ良かったです。常に興味をもっていないと忘れてしまいますね
- 3 2時間の枠内では、プログラムが多すぎたのでは。山口県の取り組みの時間が少なかったのが分かりにくかったのではと思います
- 4 P21. ポジティブリスト制度の導入、約170食品を具体的に知ることができますが、科学的な考え方を専門家から聞き、その時は納得したつもりでも、しばらくしたら又、不安になります。ひきつづき学習しつづけるしかないと思いますが、そのチャンスが少ないのが悩みです(地方だから)
- 5 「山口県における食品安全の取組の弁紹介」の時間をもう少し長くとって、詳しく聞きたかった。食品安全委員会について知ることができたことが良かった。
- 6 行政として、アレルギー検査をされているとのことですが、陽性と言われる根拠は何でしょうか？イムノクロマトによる検査の結果であるのか、それともELISA法による検査結果を踏まえて、ある数字の基準をもとに指導されているのでしょうか？
- 7 参加者がどのような属性の方なのかよく分からなかったこともあり、一般消費者が意見を言いづらかったような気がします。全体的には評価しますが、科学的な知見を消費者のリスク認知とどのように整合させて行くか、という点がリスクコミュニケーションの中でもっと出てくるとよいかと思いました。
- 8 すばらしい意見交換会に参加させて頂き、ありがとうございました。当日参加を致しました。HPIにて、直接会場への表示がありうれしく思いました。先日、新聞にて、BSE検査(20か月未満の牛について)を今後はないように…との圧力？を国が県に対して言っているような記述を見ました。食をとりまく環境が「安心」の方向へ動いていくことを、消費者は望んでおります
- 9 知らない事ばかりだったので、大変ためになりました。このような機会をもうけることは大切だと思います。

- | | |
|----|---|
| 10 | 今回は偶然知ることができ参加できました。このような意見交換会の開催をもっと広報していただきたいです。 |
| 11 | 会自体の講演会を長くした方が良いと思いました。山口県の事について知るにはあまりに短い時間だったので、連絡をもっと早めにいただけるとありがたいです。 |
| 12 | 日頃買い物をするとき気をつけようと思いました |
| 13 | 運営staffの年配男性の対応が悪かった。時間が足りずに詳しく聞くことができなかったのが残念です。もっと時間を設けた方がよかったですのではないのでしょうか。 |
| 14 | STAFFの中年男性の対応が不快でした。 |
| 15 | 意見交換会を1時間は設定してください。 |
| 16 | 時間をゆっくり取ってほしい |
| 17 | 概論的でしたが良い内容だったと思います。意見交換会をもっと長くて良い |
| 18 | もっと多くのこのような場を作ってもらいたい |
| 19 | 時間に余裕をもって説明されたい |
| 20 | 講演の時の資料新しいデーターを望む。全体的には分りやすく参考になった |
| 21 | 今まで良品安全委員会の事あまり知りませんでした。今日の意見交換会で少しは理解出来ました。とても勉強になりました。 |
| 22 | 小さいパンフ2種類で内容が違うように思う。農薬の半減期。～180日以上のは、農薬として登録できない。～1年以上のは、農薬として登録できない。今は、どちらが本当なのでしょうか。 |
| 23 | ◎山口県における食の安心・安全確保の取組みの報告の際、手元の資料にない映像がありました。ぜひ全て載せてほしいと思います。何故、抜けているのか？◎リスクのとらえ方が専門家と主婦で、大きな差があるというのがとても興味深かった。◎「農薬は使用基準に従って正しく使えば安全です」とありますが、農薬が残留していた場合は、使用基準を守っていなかったという事になるのか？その場合、罰則はあるのですか？ |